



発達障害

千葉県医師会監事

大濱 洋一 おおはま よういち 医師



皆さん、最近「発達障害」という言葉をよく耳にすることがありませんか。「発達障害」とは生まれつき脳の機能の発達の仕方に凹凸がある障害です。代表的な発達障害に「自閉スペクトラム症（ASD）」「注意欠陥多動性障害（ADHD）」「学習障害（LD）」などがあり、子どもの発達の早い段階から症状が現れ、その発達過程に大きな影響を与えます。生まれつき脳の発達が通常と異なっているため、日常生活や他人との関わり、学業などに影響がでて、本人は生きづらさを感じ、親は育てにくさを感じることがあります。発達障害は成長するにつれて症状が目立たなくなることもあります。しかし社会人になっても発達障害に悩む方もいらっしゃいます。

文部科学省による最近の調査では、小・中学校の通常の学級において、発達障害の可能性がある児童生徒の割合は8.8%と推定されています。

ASDは対人関係が苦手・こだわりが強い・感覚過敏など、ADHDは不注意・多動・衝動的など、LDは知的発達の遅れはないが、聞く・話す・読む・書く・計算するなどが極端に苦手などの特性を持っています。発達障害の特性は複数重なっている場合も多く見られます。

発達障害があると、自分の特性に合わない環境により、ストレスや周囲の人とのトラブルが生じ、不登校や引きこもり、暴力行為といった別の問題につながることもあり、「二次障害」と呼ばれます。二次障害は、家族や周囲の関わり方によって発症が予防できます。そのためにも特性を理解した上での適切な関わり方が重要です。

21世紀を「健康の世紀」に…。その願いから「ミレニアム（新千年紀）」と名付けました。

ミレニアム millennium 2025 September 第94号

目次

特集

血管ダメージを放置しないで！
脂質異常症 1

からだのソラシド♪ マナボっと
子どももおとなも一緒に知ろう！
「若年ミオクロニーてんかん」 5

スポーツコーナー
ウォーキングのすすめ 8

こども相談室
赤ちゃんの入浴について 9

千葉県インフォメーション

- ・医療のかかり方について考えてみませんか
- ・「人生会議」してみませんか
- ・マイナ保険証を利用しましょう！
- ・旧優生保護法による優生手術を受けた方へ 10

元気からだ！Q&A

爪のトラブルについて
(縦割れ・横溝・二枚爪) 12

旬食野菜クッキング

さつまいもの梅干し煮 13

ミレニアムからのお知らせ

定期購読・バックナンバー 14

医師会インフォメーション

まちがい探し 17